

平成30年11月20日(火)

第3棟の改修工事から

本年は、第3棟の改修工事で、生徒諸君にも迷惑をかけております。今の校舎が立ったのは、昭和50年からの改修工事であり、木造校舎から鉄筋コンクリート3階建ての3棟からなる3期に及んだ大改修でした。

40年の月日は、様々な不具合を生んできています。校舎のいたるところでの漏水や、サッシの不具合、内装のはげ落ち、実験台のほころびと不具合、床や天井部分の亀裂や剥がれ落ちなど、枚挙にいとまがありません。

今年度中に、第3棟の改修が終了しますが、第2棟と第1棟については、その後基本設計と実施設計を行ってからの改修となります。新高等学校改革計画もやがて全容が明らかになる予定ですので、その結果を含め、新しい磐城高校の校舎設計に入ることと考えます。

何をおいても、その道筋を立てないと退職をすることもできません。グラウンドやテニスコート及び部室等、第2グラウンドの補修等も視野に入れないと50年100年の計画とはなりません。仏作って魂入れずということではいけませんので、カリキュラムの検討とソフト面での様々な学習活動の点検についても併せて進めていく覚悟です。

次の世紀への橋渡しです。磐城の地域活性化とともに、日本のための人材育成を含め邁進してまいります。